

NPO 法人 キャンサーリボンズ

第1回「がん支えあいの日」記念イベント  
がんを語りあいましょう あなたが大切だから

報告書

- 全体の総括と記念フォーラムの概要 -



2009年7月

NPO法人 キャンサーリボンズ  
(株)朝日エル

## 総括

2008年6月に発足したNPO法人キャンサーリボンズは、がん患者さんの自分らしく、少しでも心地よい生活の実現に向けて、多くの医療関係者の方々、患者さんやそのご家族、更には本活動の主旨にご賛同いただいた皆様のご支援のもと活動して参りました。そのような活動を通して、患者さんと医療者など全ての人と同じ目線で連携し、お互いに支えあうことの重要性をアピールするために6月21日（夏至の日）を『がん支えあいの日』と制定し、その前日である6月20日、笹川記念会館（東京・三田）とホテルモリノ新百合丘（神奈川・新百合ヶ丘）にて第1回『がん支えあいの日』記念イベントを開催しました。

笹川記念会館の一般の方に向けた記念フォーラムでは、約800名を無料招待し、がん体験者や治療医など複数の視点から“がん支えあい”について提言、さらに、がん患者さんの「美」に焦点を当てたディスカッションを行いました。また、タレントの山田邦子さん率いるスター混声合唱団によるトーク&コンサートでは会場が楽しく温かな雰囲気に包まれ、がん支えあいを広めたいとの思いをこめて山田邦子さん自ら作詞・作曲を手がけたシンボルソング「あなたが大切だから」の大合唱でクライマックスを迎えました。

同じく笹川記念会館で実施した医療従事者や産業保健担当者に向けた専門家セッションには、延べ約220名を無料招待し、午前の部では「がん患者さんの職場復帰支援 - 大切にしたい、いのちのビジョン - 」をテーマに、午後の部では、治療と看護の立場から「症状アセスメントとケア～患者の主観的な症状である痛みをどうすくいあげ、マネジメントするか」をテーマに展開しました。

ホテルモリノ新百合丘で開催したリボンズハウス本部主催のチャリティイベントには、約170名が参加しました。竹下景子さんによるホスピスを題材にした朗読や、吉武輝子さんとその主治医による対談、吉岡しげ美さんによる歌を通じてがんの事を語り合い、最後は、がん支えあいシンボルソングの大合唱で幕を閉じました。

参加者のアンケートからは、「いつ患者の立場になるかわからないので、支えあうことはとても大切だと思った」「生きることになれた」「体験者のかたが明るく話されていたので、元気になった」など、満足度が高いことがうかがえる内容が多くありました。

後日、当日のNHKニュースを始めとして、新聞、ウェブなど複数のメディアに取り上げられるなど、社会的な関心の高さとニーズを改めて感じています。

## 実施概要

### < 記念フォーラム >

- ・日時 2009年6月20日(土) 13:15~15:45
- ・会場 笹川記念会館 国際会議場(2F)東京都港区三田 3-12-12

### < 専門家セッション >

- ・日時 2009年6月20日(土) 午前の部 11:00~13:00/午後の部 16:00~18:00
- ・会場 笹川記念会館 鳳凰の間(4F)東京都港区三田 3-12-12

### < チャリティイベント >

- ・日時 2009年6月20日(土) 16:00~18:30
- ・会場 ホテルモリノ新百合丘 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-1-1

- 
- 【主催】 特定非営利活動法人キャンサーリボンズ
- 【特別協賛】 ノバルティス ファーマ株式会社  
P & G パンテーン  
株式会社大塚製薬工場
- 【共催】 スター混声合唱団(記念フォーラム)  
バイエル薬品株式会社(専門家向けセッション 午前の部)
- 【協賛、寄付】 アストラゼネカ株式会社  
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
エスティ ローダー株式会社  
大塚製薬株式会社  
がん性疼痛緩和推進コンソーシアム  
グラクソ・スミスクライン株式会社  
医療法人恵佑会札幌病院  
サノフィ・アベンティス株式会社  
株式会社新日本科学  
株式会社スヴェンソン  
中外製薬株式会社  
日本緩和医療学会緩和ケア普及啓発事業  
プリストル・マイヤーズ株式会社  
ホテルモリノ新百合丘  
社団法人武蔵府中法人会  
株式会社メディネット
- 【助成】 日本財団
- 【後援】 厚生労働省、日本医師会、日本栄養士会、日本看護協会、日本薬剤師会、  
日本癌学会、日本がん看護学会、日本癌治療学会、日本緩和医療学会、  
日本臨床腫瘍学会、日本対がん協会、がん患者団体支援機構

# 記念フォーラム（笹川記念会館・一般向け）概要

## ステージプログラム

### オープニング：『がん支えあいの日』によせて



〔岡山慶子副理事長：司会〕  
朝日エルグループ会長



〔福田 護理事長〕  
聖マリアンナ医科大学付属研究所  
プレスト&イメージングセンター院長



〔前田光哉氏〕  
厚生労働省健康局総務課がん対策推進室長

### トーク&コンサート：スター混声合唱団による季節の歌やがん支えあいのシンボルソング合唱、メンバーどうしのトークなど



スター混声合唱団は総勢17名。瀬川瑛子さんや倍賞千恵子さんも参加しました。トークの中では、がんに伴う倦怠感・だるさについてメンバーで語り合う場面もあり、山田さんからは、「がまんするのはダメ。みんなで言葉に出そう」とのメッセージも発せられました。

### リボンズハウスの展開について

リボンズハウスを6月にオープンした亀田クリニック院長の亀田省吾先生、年内にオープン予定の三重大学医学部附属病院長の竹田寛先生より、リボンズハウスの目的や各施設の特徴について説明がありました。



〔亀田省吾氏〕  
医療法人鉄蕉会亀田クリニック  
院長  
NPO 法人がんリボンズ理事



〔竹田寛氏〕  
三重大学医学部画像診療科教授  
NPO 法人がんリボンズ理事

### 特別協賛社挨拶



〔中野正剛氏〕  
ノバルティス ファーマ株式会社  
オンコロジー事業部  
マーケティング部 副事業部長



〔北野雄大氏〕  
株式会社大塚製薬工場  
研究開発センター企画調整室

## パネルディスカッション：社会全体でがん支えあいを拡げるために



コーディネーター



〔岡山慶子副理事長〕  
朝日エルグループ会長

パネラー



〔山崎多賀子氏〕  
美容ジャーナリスト/がん体験者  
NPO 法人キャンサーリボンス理事



〔望月眞弓氏〕  
慶應義塾大学薬学部教授  
NPO 法人キャンサーリボンス理事



〔中村清吾氏〕  
聖路加国際病院プレストセンター長/乳腺  
外科部長 NPO 法人キャンサーリボンス理事

乳がんを事例として、現在ではがんの早期発見やホルモン療法など抗がん剤治療の進歩などにより、長い人生をがんと共に生きる患者さんが増え、がん治療をしながら生活する時間が長くなっていること、だからこそ治療と生活をつなぐキャンサーリボンの活動が求められているということ、会場の参加者と共有した。それを受けて、文字情報だけではない患者さんどうしや専門家と患者さんの会話・情報交換の大切さ(望月氏)、医療者だけが患者さんに医療を提供するのではなく患者さんも一緒に次の患者さんを支える新しい関係づくりの呼びかけ(中村氏)、女性がん患者さんの前向きな気持ちを支える上での「美」の重要性(山崎氏)など、パネラーが各々の立場から語った。

### 女性がん患者さんにウィッグを贈る「キレイのカ」プロジェクトの紹介

P & G パンテーンと協働して昨年より取り組んでいる「看護学生から髪の毛の寄付を募り医療用ウィッグを作って女性がん患者に贈る活動」に加え、一般の方にご参加いただく仕組み(7~10月、パンテーン1製品を購入ごとに2円をNPOに寄付)がスタートすることを紹介。ウィッグを贈呈されたばかりで、パネルディスカッション内で上映したドキュメンタリーにも登場した濱中さんと一緒に、活動の意義・大切さを会場にアピールしました。寄付によってウィッグを100個単位で女性がん患者さんに贈る、「美」をサポートするDVDを作成し約400の医療機関に配布する、という2つの目標も発表しました。



右：〔下村祐貴子氏〕  
当プロジェクト・メンバー/パンテーン広報  
中央：〔濱中舞子さん〕

### スター混声合唱団と会場のみなさまとの大合唱

会場全体で、シンボルソング～あなたが大切だから～を大合唱。

スター混声合唱団のメンバーが会場に降り、参加者と近い位置で、歌をリードしてくれました。

会場のスクリーンには、5～6月に実施した「がん支えあい応援イベント」(5/16 国立病院機構 京都医療センター、6/13 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院)のほか、米国イリノイ州にあるがん患者さんのサポートハウス、スター混声合唱団がゲスト出演したNHKラジオ「日曜バラエティ」スタジオでの合唱の様子などが映し出されました。



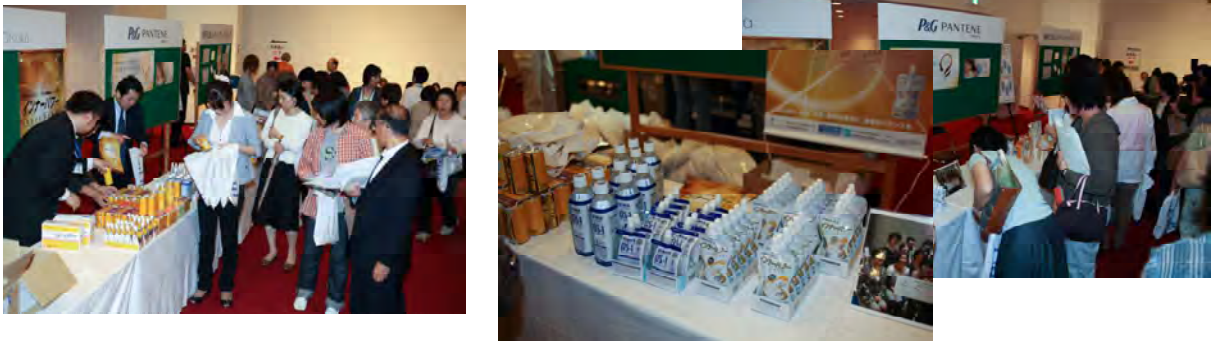
スクリーンに最後に映し出されたのは、一般の方からメールや郵便で事務局に届いた、昨年7月のシンポジウムでお配りしたアイリスの球根が育った姿でした。



## NPO 法人キャンサーリボンの展示・グッズ販売



## 特別協賛社の展示（ブース）



## 協賛社の展示（共有スペース）



## ブックフェア

